

第12回一宮市地域公共交通会議

1. 日時 平成26年1月31日（金）午前10時00分～午前12時00分
2. 場所 iービル 3階 市民活動支援センター 会議室A・B
3. 出席者 ◎吉田 有夫、○加藤 博和、井上文男、青木 隆子、眞野 潔、
近藤 太康、平子 和仁、加藤 英代、鎌田 傳夫、長谷川仁美、
石川 敏、加藤 直樹、小栗 伸彦、安達 博、鈴木 隆史、
亀井 正一、南 雅彦、尾崎 弘幸、伊藤 雅淑、大島 真二
(◎会長、○副会長)
4. 報道・傍聴 傍聴 9人
5. 議事録

企画部次長

大変お待たせしました。ただ今より、第12回一宮市地域公共交通会議を開催させていただきます。

皆様方には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また、平素より市行政の推進にあたりまして、格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私、本日の司会を担当させていただきます一宮市企画部次長の熊沢と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、議題としまして「市内バス路線全線共通利用の一日乗車券について」と「平成25年度一宮市地域協働推進事業の評価について」ご協議をお願いし、その後、10月のiーバスのコース変更後の利用状況や、一宮・イオン木曾川線、市内の名鉄バスの路線バスの利用状況等をご報告させていただき、委員の皆様のご意見をいただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。

次に、資料のご確認をお願いします。一番上から

「第12回 一宮市地域公共交通会議 議事次第」

「第12回 一宮市地域公共交通会議 委員名簿」

「第12回 一宮市地域公共交通会議 配席図」

資料1-1 「一宮おでかけバス手形」の実証結果について

資料1-2 市内バス路線全線共通利用の一日乗車券について（案）

資料2-1 地域協働推進事業計画の実施状況（案）

資料2-2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域協働推進事業）（案）

資料2-3 平成25年度 地域公共交通確保維持に関する評価概要（地域協働推進事

業) (案)

資料2-4 平成25年度に販売した一日乗車券の比較

資料3-1 iーバス、生活交通バス利用者数

資料3-2 iーバス停留所別利用者数年度比較(10月~12月)

資料3-3 「一宮・イオン木曾川線」利用者数

資料3-4 一宮市内バス路線利用者数(4~9月)

参考資料 一宮市バス路線図(平成25年10月~)

となっております。過不足ございませんでしょうか。

それでは、議題に移らせていただきますので、この後の議事進行を会長さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長

皆さん、こんにちは。本日の議題は、「市内バス路線全線共通利用の一日乗車券について」と「平成25年度一宮市地域協働推進事業の評価について」協議をお願いいたします。

まず、「市内バス路線全線共通利用の一日乗車券について」ですが、昨年4月から9月までの期間、市内のバスすべてで利用可能な一日乗車券「一宮おでかけバス手形」を販売いたしました。10月以降は一旦販売を終え、iーバスと生活交通バスに利用範囲を絞った形で一日乗車券の販売を行なっています。

「一宮おでかけバス手形」の導入の際に、半年間導入した後、問題点等の検証を行うということでした。今回はその検証を報告していただき、今後の導入について、みなさんでご協議をいただきます。この議題は、道路運送法に基づく協議となりますので、協議の後、導入に関して皆さんの合意が必要となりますので、よろしくお願いいたします。

2番目の議題「平成25年度一宮市地域協働推進事業の評価について」ですが、前回のこの会議でご協議いただいた「一宮市地域協働推進事業計画」の実施事業に対して、一宮市地域公共交通会議として自己評価を行なうというものです。

この「一宮市地域協働推進事業」は国の補助が受けられるのですが、本年度は期間が年度の後半だけということもあって補助金の申請は行なっておりません。そういうことで、この事業評価も国に対しては報告のみとなりますが、今回この場で事業評価を行い、来年度以降の事業に役立てたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、議題1「市内バス路線全線共通利用の一日乗車券について」ですが、実際に販売をしていただいた名鉄バスさんから半年間導入された状況や問題点等の検証についてご説明をしていただきます。よろしくお願いいたします。

加藤委員（名鉄バス）

当初の予想よりも多く販売できたという印象です。バスターミナル以外に、バス車内での発売を行ないましたが、全体のほぼ半数以上が車内での発売となりました。今後もその方法を考えていかなければならないと思いますが、バス乗務員の第一目的は安全運行ですので、それを見据えて次の計画をしなければならぬと思っております。

土休日限定の「一宮モーニングバス手形」の販売が少なかったことと比較検討しますと、一日乗車券は平日の需要が高いと思われませんが、平日は利用可能な時間を10時から16時としております。これは通勤通学の先を急がれるお客様が多い時間帯に、一日乗車券という取扱いに時間のかかる紙の乗車券を使うことが問題になるためです。

今回は一日券の範囲外へ乗り継ぐときにICカードとの併用を取り扱いましたが、最近のバスはハイテクでして、この方法で精算をしようとする、乗り継ぎの手続きをするために本来自動で取り込まれる位置情報を手入力しなければならず、一人のお客様に時間がかかり他のお客様をかなりお待たせすることになりました。精算は現金のみとさせていただきたいというのが、今回の検証で明らかになったことでございます。

利用者数の動きについては、定期利用以外の方を見ますと各路線とも増となっており、導入前に危惧した、これまでの通常の利用が一日乗車券の利用に置き換わるという状況にはなっていないと思われします。明確な因果関係は明らかではありませんが一定の効果はあったのではないかとというのが全体としての評価です。

会長

ありがとうございました。続いて事務局から、平成26年度に導入予定の一日乗車券(案)について説明してください。

事務局

「一宮おでかけバス手形」の販売期間が終了した後、i-バス、生活交通バスのみ利用可能な一日乗車券を発売しておりますが、路線バスも含めて乗り継ぎできる一日乗車券のご希望を市民の方からもお受けしてございまして、名鉄バスさんにご相談させていただいた結果、今回ご提案させていただきます。

販売額は、おとな600円、こども300円とします。適用範囲は、名鉄バス路線バスの市内路線、i-バス一宮、尾西北、尾西南、木曽川・北方の各コース、ニコニコふれあいバス、千秋ふれあいバスです。なお、名鉄バス路線バスで市外に跨る場合は、市境停留所からの普通運賃が別途必要です。その場合、先ほどの名鉄バスさんからの説明にあった理由から精算は現金のみで、IC乗車券での精算はできません。利用可能な時間は、平日は降

車時基準で10時～16時、土・休日、8月13日～15日、12月29日～1月3日は終日利用可能です。販売及び利用可能な期間は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間とします。販売場所は、利用可能区間・利用可能時間内のバス車内、名鉄一宮駅バスターミナル、市役所です。

会長

名鉄バスさんから今年度の検証結果、事務局から来年度の実施案の説明がありました。それでは、委員の皆様、疑問点やご意見などございますか。

鈴木委員

4月から消費税が上がりますが、路線バスは値上げする予定ですが、一日券はそのままということで、税抜きですと値下げになるということですか。

加藤委員（名鉄バス）

前回一宮市さんからワンコインでできないかというお話をいただいていた中で、一宮市内の最も遠い区間の往復を考えると500円は厳しい、超えてしまうという状況だったのですが、今回は105分の108という比率で考えますと600円は超えないという判断です。また、車内での現金の取扱いを考えるとキリのいい金額がいいだろうということもあります。

副会長

販売した代金の精算はどうするのですか。

事務局

券の作成にかかった費用を除き、車両が走っている距離に応じた割合で按分して精算します。

副会長

利用状況の確認はどうしてますか。整理券ですか。

加藤委員（名鉄バス）

整理券でもそこまでの管理はできませんので、どこからどこまで利用したかという管理はしていません。

副会長

調査日を決めて、一週間とか、一日乗車券を販売するときにアンケートを渡すなどして調査したほうが良いと思います。

会長

私もそういった調査は必要だと思います。乗り継ぎ利用についてもわかるといいと思い

ます。

加藤委員（名鉄バス）

「一宮モーニング」の期間に名鉄バスとして調査をしたいとの考えがありますので、一宮市さんと打ち合わせをしていきたいと思えます。

会長

ありがとうございました。

それでは、先ほどお話をさせていただいたように、議題1の一日乗車券導入には、この会議で合意が必要となりますので、ここで、皆様におはかりします。一日乗車券導入は、合意していただいたということによろしいですか。

《 拍手 》

会長

議題1は、合意していただいたということで次に進ませていただきます。

議題2「平成25年度一宮市地域協働推進事業の評価について」ですが、今年度作成した地域協働推進事業計画にのっとり、今年度実施された事業についての事業評価を行い、来年度その評価を反映させて、より良い事業実施を行う、ということであります。本来は、この場で評価したものを、国に提出して、国の評価委員会の場でも評価を行うのですが、今年度は補助金の交付を受けていないため、国には、事業実施の報告を行うだけとなります。それでは事務局から議題の2について説明してください。

事務局

《 資料説明 》

会長

資料が2-1から2-4までありますが、提出する資料はどれになりますか。

事務局

資料2-1のみです。資料2-2から資料2-4までは今回は補助金の申請をしていませんので提出しません。内部評価のための資料です。

副会長

補助申請をするときは、中部運輸局で第三者委員会を開き評価を行ないます。資料2-3は中部運輸局独自の資料で、資料2-4は資料2-3の別添資料ですのでこの2つは中央へは送りません。

資料2-3は地域協働推進事業の評価概要ですが、内容の「事業の概要」「具体的取り組みに対する評価」「アピールポイント」「生活交通ネットワーク計画への影響等」はそれぞれ

れ1ページで作成してください。

「アピールポイント」「生活交通ネットワーク計画への影響等」が大事です。

「アピールポイント」は一宮市の特徴的なところとか、みんなががんばっているところとかを記入してください。

「生活交通ネットワーク計画への影響等」はそれを踏まえて、来年度以降どういう見通しできたかを記入してください。

あと資料2-2 地域協働推進事業の評価には各事業の実施者を書いておいてください。

鈴木委員

8月に作った協働推進事業計画の変更が必要になると思います。具体的には、今回共通の一日乗車券を作ることになったので、「一宮モーニング」専用の一日乗車券は必要なくなりますのでその部分です。項目として無くすかどうかは、事業として形を変える方法もありますので悩ましいところではあります。

それと、資料2-2 地域協働推進事業の評価について、全項目共通ですが改善点を記載してください。

副会長

継続実施するだけだとあたりまえのことですので、改善点を洗い出して見直しをするようにしてください。

評価についても、B評価やC評価が多いからといって、第三者委員会での一宮市の評価が下がることはありませんのできちんと目標を設定して評価を行なってください。むしろ低い目標を設定してA評価をすることのほうがよろしくないです。

具体的な話になりますが、コミュニティバス限定の一日乗車券を500円で販売していますがこれについてはどう評価しているのですか。i-バス一宮コースを10月から200円に値上げしていますが、値上げ前の100円なら5回分、200円でも2.5回分の金額になります。あまり販売枚数が伸びていないように見えますが、あまり利用者の負担軽減になっていないのではないですか。評価を考えなくてはいけないのではないかと思います。他の市では商工会の加盟店で販売しているところもあります。同じことをしろとはいませんが、単純に継続実施するのではなくもっとなにか考えなくてもいいのかということです。

他の委員さんもなにかお気づきのところがあればお願いします。

会長

「一宮モーニング」専用の一日乗車券は項目として無くすのですか。

事務局

計画の変更は必要だと思います。今年度とは違った形で案を作ります。

会長

「一宮モーニング」を一宮市の食文化としてとらえると、こういったものがあるのもいいかと思います。土日だけの販売ですと販売枚数は少ないのかもしれませんが、例えばですが、モーニングを利用するのは高齢の方も多いいと思いますので、平日の10時から16時までの限定でも、普段は同じところに行くけれどこういったものがあればたまには違ったところに行くかとか、そういったこともあると思います。また一宮モーニングマップというのがあるのですが、お店の場所はわかりますが、どのバス停を使って行くというようなことは書いてありません。そういうところも改善点かと。今のままではたしかによろしくないかと思いますが、考えるべきところもあるのではないかと思います。

委員の方、他にになにかございますか。

青木委員

モーニングのこともそうですが、PRはしていても一般の方がどれぐらいそれをご存知かという、極端なことをいうとi-バスが走っていることを知らない方もみえて、いろんなことを工夫してやってきているのに、どうして皆さんに伝わっていないのか。PRの方法は課題だと思います。

副会長

モーニングでいうと、例えば一日乗車券を使う人になにかオマケのサービスをして、車でそのお店まできてもらって、車はそのまま置いていってもらってそのお店をバス利用の出発点として使ってもらおうという方法もあります。そのことを書いたポスターをお店に張る。そのポスターの印刷の費用を協働推進事業にのせるとか。喫茶店以外の場所でもバスで行くとなにかオマケがもらえるようにすれば、まずモーニングに行って、そこで一日乗車券を買ってどこかへ出かけるということもできます。喫茶店で一日乗車券を売ってもらうというのはどうですか。

会長

難しいとは思いますが、モーニングは早いところだと朝6時ぐらいからやっているのもっと早い時間から利用できるようにするというのも検討してもいいのではないかと思います。

加藤委員（名鉄バス）

いろいろなご意見が出て、協議会としてもご苦労いただいているところではありますが、

乗車券を売っていただくには販売契約を結ぶという手続きも必要ですし、ハードルが高いところがあります。

そもそも通勤、通学の利用の方で成り立っているのが民間バス事業でして、またＩＣカードの普及率が８割になってきています。そんな中でお客様が紙の券を使って乗降されるということになると、ＩＣカード導入理由のひとつに乗降時間のスピーディー化ということがあります、それによって定時運行の確保を図っているところですので、通勤、通学の少しでも先を急ぎたいという、そういった大多数の利用者のニーズとマッチしない部分があります。そこをどう調整するかというところで、乗降時間の枠を作っているということです。車内で販売する場合はその時間の枠は外せないですし、喫茶店で販売するというのが実現できればまた解決の方策も見つかってくるかもしれないですが、いずれにしてももう少し時間をかけて検討していきたいと考えます。

副会長

ＩＣカードの利用率が８割ということですが、それは常連の方ばかりで、問題だと思えますが。

加藤委員（名鉄バス）

去年の春から全国の主要なＩＣカードの共通利用ができるようになりましたのでそうでもないです。例えばキャッシュカードと兼用のカードでも利用できるようになりましたので、今まで定期券以外の方がＩＣカードを利用する機会は少なかったのですが、一気に拡大しました。定期券利用率自体もここ１年で１割近く増加していますし、利用頻度が高くない方も含めてＩＣカードの導入でバスを利用しただけの窓口が広がっていると思います。

副会長

一宮市の市民全体の中でのＩＣカードの普及率という見方をすると、それほど高くないと思いますが、一日乗車券はそこをねらってます。それで慣れてもらって、常連さんになってＩＣカードにきてもらう。車しか使わない人は１年中それしか使わない。そういう人が圧倒的に多い。

加藤委員（名鉄バス）

そこで、高齢者のバス乗り方教室ということを行なっています。ＩＣカードの利便性をご存じない高齢者の方もまだ多いと思いますので。他市ですが、そこは路線が長いので高齢者向けに１乗車が１００円になるパスカードを発行しておりますが、山間部から中心部への路線で高齢者の利用率が非常に高く、それは全てＩＣカードでの利用です。バス乗り

方教室で、かばんや財布から出さなくていい、コンビニで買い物もできるというＩＣカードの利便性をご覧いただければ、今後もっと利用者は増えていくと思います。バス利用者が少し増えている理由のひとつはＩＣカードの利便性だと考えていまして、乗車券としての機能だけでなく、電子マネーなので財布がわりに使えることを知っていただければ、普段バスに乗らない方の保有率も上がる、そういったことの相乗効果でバスの利用者も増えてくると考えております。

副会長

現金じゃないところをどうやって増やすかというのは非常に大事なところですが、現金だとわずらわしさがありますが、初めて使う人にとっては、これを買ったら一日乗れる、全路線乗れるというようなツールがあればわかりやすくなるので、それを使って今までバスに乗らなかった人をどうやって取り込んでいくか、という間口をみていかないといけないのではないかという話です。それと協働推進事業とどういう関係になるかを考えていかなければならないのですが、市内の各地域の広報誌の記事に、バスを利用しましょう、だけではなくて、ＩＣカードとか一日乗車券のことを載せてもいいんじゃないですか。むしろ協働推進事業としては、そこでＩＣカード自体の宣伝をしてもいいかもしれない。

事務局

今後、一日乗車券のことも紹介してもらえよう地域の話し合いの中で進めていきたいと思っております。ＩＣカードについてはそれぞれ地域の判断になるとは思いますが。

会長

各地域の話し合いの中で、この地域ではこういう意見や要望が出たという内容を共有できるといいですね。それを活かしたコースの検討などが行なえるようになると思っております。

それでは、議題２についてはよろしいでしょうか。

事務局は、ただ今委員さんからいただいた意見を参考に、書類の提出を行なってください。

それでは、続きまして、報告事項に進みたいと思っております。

今回の会議では報告事項としてありますが、平成２５年４月に名鉄バス「一宮・イオン木曾川線」の運行開始、１０月にはいーバス一宮コースのコース変更を行い、今年度は、一宮市公共交通計画に則って、市内のバス路線が大きく変更されました。それぞれの路線の利用状況がどうなのか、ということはもちろんですが、計画が目標とする市内の公共交通のネットワーク、という意味では、路線の変更の無い、名鉄の路線バスも含めた市内の全路線の利用状況も含めて報告をしてもらいます。また、その状況についての委員さんか

らのご意見もお願いしたいと思います。それでは、事務局、名鉄バスさんから説明をお願いします。

事務局

《 資料説明 》

加藤委員（名鉄バス）

《 資料説明 》

会長

名鉄バスさんを含めて市内全体でみると利用者は増えているということですね。10月にiバスのルート、料金の変更を行なったわけですが、定着するまでは時間がかかるということもあるかと思いますが、ここは利用者の減少が大きかった。また、市民のニーズで大型商業施設への、特にイオン木曾川への希望が多かったのですが、ニーズは高いのですが、利用状況をみると現実はなかなか難しいという問題があるということです。iバス一宮コースでは比較的西側はいいのですが、東側がやや減少しています。新たに設けた一宮市役所の停留所があまり伸びていない。これは以前からの習慣で一宮駅から歩く方が多いのかもしれませんが。市民会館ももっと多くてもと思いますが、無料のシャトルバスが運行するときもあるので、それとの競合とか、そういった影響でしょうか。

先ほど青木委員さんがおっしゃられたように市民に対する広報が足りないというのがあるって、市の広報などにはたびたび記事が載せてありますが、テレビであるとかラジオであるとか、広報の機会はあると思います。例えばの話ですが、名鉄バスさんですと、バス停が近くなると、どここのお店を利用するにはこのバス停が便利ですというアナウンスが流れますが、iバスでもそういうことを考えてはどうかあと思います。

委員の皆様、ご意見ございますか。

眞野委員

まず、1時間、1時間半というのは時間がかかり過ぎているということがあると思います。あとバス停ごとの時刻表があるといいかなあと。みなさん電車で自分が乗るところの時刻表って持っていますよね。バス停まで行けばありますけど、急に利用するときにはあると便利かと思います。

加藤（英代）委員

PRの件ですが、私は今、公民館の活動を行なっているのですが、高齢者の方が多いのですが、バスがどういうルートで走っているかご存じないです。そういう場で説明していただく機会があるといいと思います。皆さん行きたい場所は同じだと思うんです。例え

ば市民病院とか。こういう乗り方をするとそういうところへ行けるというPRをすればもっと利用していただけるのじゃないかと思います。

近藤委員

私の地元の地区では、ここ何年かで戸数が大幅に増えています。i-バスが走っていないので高齢者は自転車で稲沢へ出ている人が多いですが、住民の数の動向をみて柔軟に路線の検討をしてもらえないかな、ということはありません。大型商業施設もイオン木曾川もあります、今はあちこちにたくさんできています。そういった変化に対応した検討も必要ではないかと思います。

会長

ありがとうございました。

いろいろすぐに変更というのは難しいかもしれませんが、こういった利用者の動向をみて、今後どうしていったらもっと利用してもらえるようになるか検討をしていく必要があると思います。

副会長

利用状況については、基本的には想定内であって意外な結果ではないかと。まずiビルに図書館ができたのですが、図書館というのは公共交通と相性がいいので駅にできたのは非常にいいですね。一宮・イオン木曾川線ができたのでi-バスのコースを変えたのですが、変わったところの住民の方は市民病院やテラスウォークに直接行けなくなってしまった。そのあたりが原因だと思います。一宮コースはそれでもまだいいと思うのですが、木曾川・北方コースや尾西北コースが問題で、エコハウス138を使う方、そこで乗り継ぎをしようとする方にとって利便性が落ちてしまった。以前から指摘していますが、早く60分間隔の運行に変更して乗り継ぎを考えないと、利用者が減っていく可能性があります。次回の協議会では、そのあたりを具体的にどう見直していくのか方向性を知りたいですし、もう少しデータを見て具体的に議論していきましょう。

会長

最後に、主宰者委員として、市企画部長の伊藤委員さん、何かありましたらお願いします。

伊藤委員

本日はありがとうございました。PRが足りないというご意見をいただいておりますが、これはバスだけのことではなくて、市はいろんなことをやっているのですが、なかなか市民の方に伝わっていないということがあります。アンケートをとるとみなさん広報は見て

いるというお答えなのですが、どうしてもかかわりのあるところしか見ていただけないということだと思います。PRについては難しい問題だと思いますが今後ともお力添えをお願いいたします。

会長

それでは、本日は長時間に渡りまして、ご協議賜りまして、誠にありがとうございました。今後とも委員の皆様の一層のご協力をお願いいたしまして、本日の会議を閉会させていただきます。長時間、ありがとうございました。